



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松尾 時雄

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 角田 尚久

TEL 03-5462-8212

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	34,398	△8.8	1,583	15.3	1,737	15.9	103	△87.1
28年3月期第3四半期	37,703	△8.0	1,373	41.9	1,499	26.4	807	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △1,857百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 127百万円 (△77.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	1.27	—
28年3月期第3四半期	9.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	60,309	18,412	28.9
28年3月期	59,389	20,449	32.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 17,405百万円 28年3月期 19,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	△4.3	2,400	14.2	2,500	10.8	200	△80.1	2.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	81,940,298 株	28年3月期	81,940,298 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	61,530 株	28年3月期	61,130 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	81,879,128 株	28年3月期3Q	81,880,585 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成28年8月30日公表の通期連結業績予想を修正しております。

2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では個人消費が底堅く推移するなど堅調な景況感が続き、欧州諸国では英国のEU離脱による影響は少なく景気は回復傾向で推移しており、中国、アジア新興国や資源国では景気減速の動きに一服感が見られました。一方、わが国では、所得・雇用環境は引き続き堅調に推移しており、為替相場も期後半に入り円安傾向に転じるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。

当社グループにおいては、機能製品分野では、原材料価格の低下などによる収益の改善がある一方、東南アジア地域での市況低迷の長期化などによる影響を受けたほか、電子・光学製品分野や建設・建材関連分野では、需要縮小や期前半の円高進行の影響などもあり、各分野ともに減収となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は343億9千8百万円と前年同期比33億5百万円(8.8%減)の減収の一方、営業利益は15億8千3百万円と前年同期比2億1千万円(15.3%増)の増益、経常利益は17億3千7百万円と前年同期比2億3千7百万円(15.9%増)の増益となったものの、事業損失引当金の繰入額を特別損失に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億3百万円と前年同期比7億4百万円(87.1%減)の減益となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(機能製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品、マーキングフィルム、ステッカー、包装用フィルムなどであります。

このうち、ファインケミカル製品は電子材料向けや農薬関連向けが順調に推移し、前年同期比増収となりました。メラミン樹脂製品は海外向けは前年同期並みでしたが、国内向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。接着製品は光学関連分野向けの販売が回復し、前年同期比増収となりました。マーキングフィルムは海外向けが低迷し、前年同期比減収となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が振るわず、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは中国での販売が低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は166億3千1百万円と前年同期比7億2千6百万円(4.2%減)の減収となりましたが、原材料価格の低下などにより、セグメント利益は21億1千1百万円と前年同期比4億4千7百万円(26.9%増)の増益となりました。

(電子・光学製品)

当該事業の主な取扱製品は、再帰反射シート、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などです。

このうち、再帰反射シートは欧州向けが低調に推移したことに加え、期前半の円高進行の影響もあり、前年同期比減収となりました。セラミック基板はスマートフォン向けやデジタル家電向けの需要は回復したものの、為替の影響を受け、前年同期比減収となりました。プリント配線板はアミューズ関連をはじめ総じて振るわず、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は78億1千5百万円と前年同期比18億2百万円(18.7%減)の減収、セグメント損失は2億8千3百万円(前年同期は3億4千万円の損失)となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などであります。

住宅用アルミ建材は主力の手摺、笠木等の販売が低調となり、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は76億7千7百万円と前年同期比1億5千1百万円（1.9%減）の減収となったものの、アルミ地金等の原材料価格の低下などにより、セグメント利益は4億3千万円と前年同期比2億1千3百万円（98.2%増）の増益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などであります。

産業プラントの設計・施工は国内向け大型工事案件の完工が増加しました。

以上により、当セグメントの売上高は50億4千万円と前年同期比1億2千8百万円（2.6%増）の増収、セグメント利益は9千1百万円と前年同期比6千9百万円（313.6%増）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比9億1千9百万円増加し、603億9百万円となりました。

このうち、流動資産は、現金及び預金や棚卸資産の増加などにより、前期末比8億5千万円増加し、301億2千5百万円となりました。固定資産は、新研究開発センター建設による増加はあったものの、既存設備の償却による減少などにより、前期末比6千9百万円の増加にとどまり、301億8千4百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前期末比29億5千7百万円増加し、418億9千7百万円となりました。

このうち、流動負債は、事業損失引当金を計上したことなどにより、前期末比19億円増加し、262億7千4百万円となりました。固定負債は、長期借入金の増加により、前期末比10億5千6百万円増加し、156億2千2百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、為替換算調整勘定の減少などにより、前期末比20億3千7百万円減少し、184億1千2百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の32.8%から3.9ポイント悪化し、28.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの今後の見通しにつきましては、原材料価格の低下や為替水準が円安傾向で推移することが見込まれることから、平成28年8月30日に公表いたしました通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

平成29年3月期 通期連結業績予想数値（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成28年8月30日発表)	50,000	2,500	2,000	△100	△1円22銭
今回修正予想(B)	48,000	2,400	2,500	200	2円44銭
増減額(B-A)	△2,000	△100	500	300	—
増減率(%)	△4.0	△4.0	25.0	—	—
前期実績 (平成28年3月期)	50,182	2,101	2,255	1,004	12円27銭

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（企業会計基準委員会 平成28年6月17日 実務対応報告第32号）を第1四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,739	6,222
受取手形及び売掛金	14,437	14,664
商品及び製品	4,742	4,426
仕掛品	1,607	1,842
原材料及び貯蔵品	1,754	2,112
その他	1,132	983
貸倒引当金	△138	△127
流動資産合計	29,275	30,125
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,002	7,580
機械装置及び運搬具(純額)	6,133	5,259
土地	12,291	12,197
その他(純額)	2,572	2,021
有形固定資産合計	27,000	27,057
無形固定資産	572	584
投資その他の資産		
その他	2,680	2,643
貸倒引当金	△138	△101
投資その他の資産合計	2,542	2,542
固定資産合計	30,114	30,184
資産合計	59,389	60,309

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,423	8,101
短期借入金	12,150	13,024
未払法人税等	296	256
賞与引当金	508	550
役員賞与引当金	30	20
事業損失引当金	—	1,076
その他	2,964	3,245
流動負債合計	24,374	26,274
固定負債		
長期借入金	7,339	8,532
退職給付に係る負債	3,358	3,328
役員退職慰労引当金	85	56
再評価に係る繰延税金負債	2,831	2,831
その他	951	873
固定負債合計	14,566	15,622
負債合計	38,940	41,897
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	2,702	2,642
自己株式	△10	△10
株主資本合計	12,129	12,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△31	200
繰延ヘッジ損益	△3	△2
土地再評価差額金	6,300	6,300
為替換算調整勘定	1,445	△801
退職給付に係る調整累計額	△389	△359
その他の包括利益累計額合計	7,321	5,335
非支配株主持分	998	1,006
純資産合計	20,449	18,412
負債純資産合計	59,389	60,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	37,703	34,398
売上原価	27,929	24,720
売上総利益	9,774	9,677
販売費及び一般管理費	8,400	8,094
営業利益	1,373	1,583
営業外収益		
受取利息	60	73
受取配当金	113	110
その他	276	245
営業外収益合計	451	429
営業外費用		
支払利息	150	124
その他	174	150
営業外費用合計	324	275
経常利益	1,499	1,737
特別利益		
事業譲渡益	—	60
特別利益合計	—	60
特別損失		
事業損失引当金繰入額	—	1,076
特別退職金	45	—
特別損失合計	45	1,076
税金等調整前四半期純利益	1,453	721
法人税、住民税及び事業税	426	447
法人税等調整額	122	53
法人税等合計	548	500
四半期純利益	905	220
非支配株主に帰属する四半期純利益	97	116
親会社株主に帰属する四半期純利益	807	103

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	905	220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	230
繰延ヘッジ損益	△4	0
為替換算調整勘定	△815	△2,339
退職給付に係る調整額	4	31
その他の包括利益合計	△778	△2,077
四半期包括利益	127	△1,857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	102	△1,882
非支配株主に係る四半期包括利益	24	24

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能製品	電子・光学 製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,874	9,587	7,809	3,815	38,086	△383	37,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	482	30	19	1,097	1,627	△1,627	—
計	17,357	9,617	7,828	4,912	39,714	△2,010	37,703
セグメント利益又は 損失(△)	1,664	△340	217	22	1,563	△63	1,499

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能製品	電子・光学 製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,374	7,823	7,661	2,655	34,515	△117	34,398
セグメント間の内部 売上高又は振替高	257	△8	16	2,385	2,648	△2,648	—
計	16,631	7,815	7,677	5,040	37,163	△2,765	34,398
セグメント利益又は 損失(△)	2,111	△283	430	91	2,349	△612	1,737

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。